

会 議 記 録

次の審議会（協議会）を下記のとおり開催したので報告します。

審議会等名称	令和6年度第1回近江八幡市社会教育委員・公民館運営審議会委員の会議		
開催日時	令和6年6月26日（水） 13：30～14：30		
開催場所	近江八幡市文化会館 2階 会議室2		
出席者 会 長◎ 副会長○	<社会教育委員> ◎大橋委員 ○中江委員 仲井委員 蒲生委員 皆黒委員 房岡委員 松本委員 小林委員 園田委員 吉井委員 中野委員 深尾委員 重野委員 <説明者・事務局> 生涯学習課 清水次長 森野課長 田中主事 木村推進員 瀧口事務員		
次回開催予定日	令和6年10月		
問い合わせ先	所属名・担当者名： 近江八幡市教育委員会事務局生涯学習課 田中 電話番号：0748-36-5533 Fax番号：0748-36-5565 メールアドレス： 045000@city.omihachiman.lg.jp		
会議記録	発言記録・要 約	要約した理由	内容が整理され、記録として残すことに適しているため

事務局	1. 開会 (1) 委嘱状交付 (2) 挨拶 (3) 自己紹介委員長挨拶
委員長	2. 各役員について 会議出席者の報告 ↓ 議事交代(委員長による議事進行)
事務局	3. 報告・協議事項 (1) 令和5年度近江八幡市生涯学習推進実施計画進捗管理について
委員長	ありがとうございました。ただ今説明いただきましたが、何かこれにつきましてご意見、ご質問等ございましたら、どうぞご自由にお願ひします。
委員	先ほどの36番の事業で、人権教育啓発講師の登録人数がR4と比較して20名減少したとあったが、これの一番大きな原因はやはりコロナだと思う。 それまで各町で地区懇を行っていたが、コロナで4年間集うことができない状況だった。昨年度からコロナが終息してきて、それで、馬淵学区でも昨年度は対話型という形でやった。しかし、1年目なので講師は呼んでいない。講師を呼ぶとたくさんの方に集まってきてもらうことになる。このように、4年間、講師を求められなかったことが登録人数減少の大きな原因かと思う。
事務局	わかりやすい意見をありがとうございました。
委員長	他いかがでしょう。
委員	説明を聞いて、目標の未達成率は改善したとのことだが、60事業中11事業が達成できていない。いろんな事情でできなかったのだと思うが、ここに挙がっている事業はやはり大切な対策だから挙げられていると思う。進捗管理を機会に来年度に向けて、ちょっと手を加えて目標達成に持っていくようなことが必要なのではないかと思う。いろいろな事情が絡んでの結果だとは思うが、そのようなことについても触れていただければと思う。
事務局	ご意見ありがとうございます。 今の件につきましては、各関係課がそれぞれ、資料を作るにあたって一旦去年1年間を振り返りの機会とさせてもらっている。このペーパーの中では書ききれない、今中野委員に言っていた部分も必要だと思う。各担当課の方へ振り返りを通して、できてない部分をしっかりと見極めながら取り組んでもらえるように働きかけていきたいと思う。
副委員長	今のご説明以外のところで、44番の学区文化祭事業について、評価が3と書いてある。各学区とも、コロナ後やっと再開して、積極的に一生懸命にいただいた。私たちは主催者側として、人がたくさん来てくれるように工夫をしながらの文化祭だった。この報告書の達成度は3となっているが、どのようなことから3と評価されているのか伺いたい。
事務局	こちらの事業は、まちづくり協働課が担当しているが、達成度は2となっている。小さな文字で見にくく申し訳ありません。

副委員長	この文化祭事業は、どこの学区も人に来ていただくというアナログ式である。例えば金田学区の場合は幼小中の児童生徒に発表でも来てもらっている。しかし、R6年度からは先生方の働き方改革により学校の休業日に児童生徒の発表で教員が引率指導することは無理だと通達をいただいている。自治会に入っておられる方が少ない中、保護者の方に来てもらい学区行事について周知する効果があったが、子どもたちのステージ実施が難しいとなると、この事業の今後の在り方についても難しくなると思う。
委員長	他にいかがでしょうか
委員長	よろしいですか。 ではないようですので、私からいくつか質問、要望をさせていただきたいと思う。 非常に基本的なことだが、この結果だけを見ると、昨年度よりもかなり改善されているのでそれは評価させていただくが、ただ非常に大きな問題が見えてきた。それは、この達成度の尺度が非常に抽象的であること。尺度の2のほぼ達成の「ほぼ」、3のやや下回ったの「やや」、4の大きく下回ったの「大きく」、この尺度では担当課の忖意が入り込んでいる評価になっているのではないかと思う。委員はこの資料に記載されていることが全てであり、判断できる唯一の資料であるため、資料にはできる限りの確に判断できる情報が記載されていなければならないため、この報告書の評価は適切か疑問に思う。また、明確なエビデンスが示されていない。例えば、1番の事業では、目標は数値化され、状況は数字が出ている。達成度は3となっている。3は、「目標をやや下回った」である。各項目を数値化すると①が100.3%②が89.2%③が95.9%である。ほぼ90%から100%までの間に入っているにもかかわらず、「やや下回っている」と評価されている。95%以上ないと「ほぼ達成」とできないのはおかしいと思う。したがって、まず、数値化できるものは評価したことを数値化するのが原則だと思う。数値化しないと全然わからない。ただ、数値化できない目標もある。そういう場合は、単に達成・未達成という尺度でいいと思う。第三者が見て適切に判断できるわかりやすい指標に見直していただきたいと思う。 もう一つ、達成度の尺度の1ですが、「目標を上回って達成」と設定されている。つまり、100%以上成果を出せるようにという事だと思う。先ほど中江副委員長も言われたように、働き方改革からすると、最初からこんな目標を設けて目標達成せよというのは、ある意味強制になりはしないか、あるいは、過重労働になりはしないかと心配している。最初から100%を超えるという設定はいかがなものかと思う。 基本的な事を申し上げたが、見直せるところは見直していただきたいと思う。
事務局	様々な面から評価の尺度についてご意見をいただいた。令和6年度も事業の進捗管理をしていくので、評価の指標の見直しを図りたい。
委員	最初から目標を過大にせず、出来る範囲の目標設定で達成を目指せば、働き方改革にも対応できるように思う。もう一つは、事業リスト表の文字が小さすぎて読めない。2ページにしてでも拡大した方が良い。
事務局	1点目の目標設定については、改めていきたいと思う。2点目については、確かに字が小さいので見やすい表に直します。
委員	いろいろな部署の方がそれぞれの指標で報告している。同じ指標にすることはできないだろうが、報告をまとめるのなら、指標の項目をこちらから示したもので統一して報告してもらおうようにした方が同じ土俵に上がるのではないかと思う。
事務局	事業によって評価の指標が違うので、100%統一というのは難しいが、調査の中でできるだけ目標値の統一化を図りたいと思う。
委員長	他にはよろしいでしょうか。 いろいろな意見が出ましたが、それらの意見を勘案して頂いてよろしくおねがい

	したい。では、次の議事に移ります。
事務局	(2) 令和6年度市民大学講座について
委員長	説明について、質問や意見がありましたらお願いします。
委員	講座はどこで開催するのか。
事務局	1回目、2回目については、岡山コミセンで予定している。
委員	会場を資料に書いておいていただいた方が良いと思う
事務局	毎年、ここでという決め事はない。今年度は岡山コミュニティセンターを中心に貸館の相談している。駐車場の広さのこともある。去年は桐原コミュニティセンター、一昨年はひまわり館を使用するなど、講師の方と日程等を調整しながら貸館の状況を見て決めている。
委員長	他にいかがでしょうか。 では、ないようですので、以上で本日の議事は終了します。
事務局	4.連絡事項 5.閉会